

札概本廳より詳細に御申越候條に上申可也

明治九年十月十一日

同知長官星田清隆

太政大臣三條實美殿

明治九年十月十一日

新

乙亥八十八号

新税名称ノ義上申

当使管内雜稅之分、最甲
等木子ノ同之趣、去月四日、聞
届ね成以、^{自今}課徴收、^分自今
北海道地方、^別稅名、^分要分
一、^別課徴、^分如左上申、^{候也}

明治九年九月十一日

同

同知長官星田清隆

開

大正九年八月

開 抄 使

甲第廿五号

雜稅ノ義同

(黑)

第 一

第 一

昨明治八年第貳拾三号雜稅奏止ノ義公布相成候ニ付當使
管下海產稅ノ内廢稅目ニ衝觸ノ分從前ノ通牒置度旨等本
年甲第ニ号ヲ以テ同ヲ經其他ノ雜稅ハ該公布中差向收稅之
無之テハ營業取締差支候類ハ當分地方ニ於テ改テ收稅之
答ト有之ニ據リ所分致居候然ルニ同年第百四号及第百
四十九号公布ヲ以テ國稅府縣稅ノ區別被相定右公布中府縣
稅賦課ノ方法ハ地方官ニ於テ取調大藏省ノ許可ヲ得費違ノ
方法ハ内務省ノ許可ヲ得テ施行スト有之候得共當使ノ體裁ハ
府縣ト相異リ候ニ付右等ノ義モ兩省關涉ノ筋無之且租稅
ノ法ヲ定メ及改正スルハ當使章程ニ據レハ上奏制可ヲ經テ施行
スヘキ者ニ有之候得共租稅ノ區分被相定候上ハ國稅ノミ相同可

月 日 年

